取扱説明書
A01SH

ご使用になる前によくお読みください

本製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、「保証とアフターサービス」（▶46ページ）を参照してください。

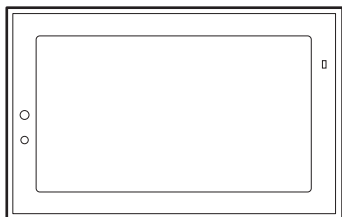
ご使用前のおことわり

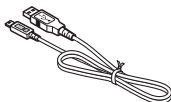
- お客様または第三者が本製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- 停電・電力線上のノイズなどの外部要因、または天災・原因不明のネットワーク障害その他の不可抗力によりお客様または第三者が受けられた損害（データ損失、その他の直接・間接の損害）、またはそれらにより生じた故障もしくは不具合については、法令上責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- お客様または第三者が、本製品の使い方を誤ったときや静電気・電気的ノイズの影響を受けたとき、また故障・修理のときは、記憶内容が変化・消失する恐れがあります。
- 重要な内容は、必ずパソコンやmicroSDメモリーカードなど他の記録媒体に記録し保管してください。
- 本製品のACアダプタジャックに、ACアダプタの接続を行った場合は、自動的に電源が入る場合があります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではACアダプタの接続を行わないようご注意ください。
- 本書の内容の全部または一部を、当社に無断で転載、あるいは複製することはお断りします。
- 本製品および本書の記載内容、各種サービスなどの内容は、改良のため予告なく変更することがあります。

- **「安全にお使いいただくために」（▶5ページ）には、本製品を安全にお使いいただくための重要な情報が記載されています。内容をよくお読みになったうえで、本製品をお使いください。**

付属品を確認する

□ 本体：1台※1

□ AC アダプタ：1個

※形状は変更になる場合があります。

□ USB ケーブル：1本（試供品）

□ microSDメモリーカード(2GB)※2：1枚(試供品)
□ かんたんガイド※3：1部
□ 取扱説明書※3(本書)：1部
□ 電波干渉に関するご注意シール：1枚
□ 保証書(A01SH本体用)：1部
□ 保証書(ACアダプタ用)：1部

このほかに補足説明書などが入っている場合があります。

※1 本製品のバッテリーは内蔵されておりますので、お客様自身では交換できません。バッテリーの交換については、「バッテリーの交換について」(▶17ページ)を参照してください。
※2 初期化済みです。出荷時に本体のmicroSDメモリーカードスロットに取り付けられています。
※3 本製品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。
This model is designed exclusively for Japan, with manuals in Japanese only.

オプション品について

■ ACアダプタ(PCA01SHZ10)

※形状は変更になる場合があります。

もくじ

安全にお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

⚠危険	人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。
⚠警告	人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
⚠注意	人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。

● 図記号の意味は以下のとおりです。

禁止	してはいけないことを表しています。
分解禁止	分解してはいけないことを表しています。
接触禁止	触れてはいけないことを表しています。
ぬれ手禁止	ぬれた手で扱ってはいけないことを表しています。
水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水にぬらしたりしてはいけないことを表しています。
指示	しなければならないことを表しています。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを表しています。

■ 本体、ACアダプタ、USBケーブル、microSDメモリーカードの取り扱いについて(共通)

⚠危険

禁止

直射日光の当たる場所や炎天下の車内、火やストーブのそばなど、高温になる場所で使用、保管、放置しない
火災の原因となります。

禁止

火の中に投げ入れたり、加熱したりしない
火災の原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れない
火災・感電の原因となります。

分解禁止

分解や改造をしない
火災・感電の原因となります。

水ぬれ禁止

水や雨滴、海水、飲料水、ペットの尿などでぬらさない
中に水が入ると、火災・感電の原因となります。

指示

ACアダプタは、必ず付属品またはオプション品(PCA01SHZ10)を使用する
火災・感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしない
火災・感電の原因となります。

禁止

破損したまま使用しない
火災・感電の原因となります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で使用しない
火災・感電の原因となります。

禁止

端子に導電性異物(金属片、鉛筆の芯など)や燃えやすいものなどを接触させない
また、内部に入れない
ショートによる火災·感電の原因となります。

指示

周囲温度10℃～35℃、湿度20%～80%の範囲で充電する
極端な温度下で充電すると火災·感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布や布団などで覆ったり、包んだりしない
熱がこもって、火災の原因となります。

禁止

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所では使用しない
使用中や充電中に発生した静電気がガスに引火し、火災の原因となります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、今までと異なるときは、直ちに次の作業を行う
·ACアダプタを接続しているときは、コンセントから抜く
·本製品の電源を切る
·「修理について」(▶46ページ)を参照し、点検·修理を依頼する
異常な状態のまま使用すると、火災·感電の原因となります。

指示

充電停止状態(バッテリー状態ランプがオレンジ／緑点滅)になった場合は、直ちにACアダプタをコンセントから抜く
·再度充電をする場合は、しばらく待ってから行う
·電源が切れた状態(サスペンド含む)で何度も充電が停止する場合は、充電回路または内蔵バッテリの異常が考えられるので直ちに充電を中止し、「修理について」(▶46ページ)を参照し、点検·修理を依頼する
異常な状態のまま使用すると、火災の原因となります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かない
落下して、けがの原因となることがあります。

禁止

ほこりや湿気の多い場所で使用、保管しない
火災·感電の原因となることがあります。

指示

子供が使用する際には、保護者が取り扱い方法を教え、使用中も正しく使用しているか確認する
けがの原因となることがあります。

禁止

梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かない
鼻や口をふさいで窒息したり、けがの原因となることがあります。

■本体の取り扱いについて

⚠警告

指示

次の場所では電源を切る
・混雑した場所(満員電車の中など)
・医療機関(病院など)の中
・医療用電気機器の近く
・高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器(火災報知器など)の近く
・航空機内
電波により心臓ペースメーカー、医療用機器、電子機器、航空機の動作に影響を与え、事故の原因となります。
また、航空機内で使用することは、航空法違反となり処罰されることがあります。

指示

心臓の弱い方は、音量の設定に注意する
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

ディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけない
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

禁止

フラッシュの発光部を人の目に近づけて点灯発光しない
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

自動車やバイク、自転車などの運転中や歩行中は本製品を使用しない

交通事故の原因となります。

⚠注意

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売店に電波による影響について確認のうえ使用する

車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

指示

皮膚に異状が生じた場合は直ちに使用をやめ、医師の診断を受ける

体質や体調によっては、かゆみ･かぶれ･湿疹などの原因となることがあります。

本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しています。

使用箇所	使用材料	表面処理
本体 裏面	AL 合金	染色＋印刷
本体 左/右側面	PC樹脂	塗装
デコレーションパネル左/右	PC樹脂＋ABS樹脂	塗装+印刷
電源キー	PC樹脂＋ABS樹脂	塗装
音量キー	PC樹脂＋ABS樹脂	塗装
ディスプレイ	ガラス	なし
カメラ窓	ガラス	なし
microSDメモリーカードスロットカバー	PC樹脂＋ABS樹脂	塗装

指示

本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがあるので注意する

長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

爪先でタッチパネル操作をしない

爪が割れたり、突き指などけがの原因となることがあります。

指示

健康のために、次のことを守る

体調に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

・連続して使用する場合は、1時間ごとに10分〜15分の休憩を取り、目を休ませてください。

・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。（操作場所の明るさの目安：500ルクス）

・画面からある程度の距離をとって使用してください。

・明暗の差の大きい所では使用しないでください。

・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。

・本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、すぐに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。

・お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり点滅を繰り返す画面を見ている際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、すぐに使用を中止して医師の診断を受けてください。

■ACアダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止

ACアダプタは誤った使い方をしない
火災・感電の原因となります。
- ・コードを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
- ・ACアダプタにコードを巻きつけたり、コードを結んだり、束ねたりしないでください。
- ・コードの上に重いものをのせないでください。

電源プラグを抜く

雷が鳴りはじめたら、ACアダプタをコンセントから抜く
落雷により火災・感電の原因となります。

禁止

コンセントにつながれた状態でコネクターをショートさせない
火災・感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させない
火災・感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用する
誤った電圧で使用すると火災・感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V～240V
（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

電源プラグに付いたほこりは、乾いた布で拭きとる
火災・感電の原因となります。

指示

電源プラグは、根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全ですと、ほこりが付着して火災・感電の原因となります。

禁止

電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
火災・感電の原因となります。

禁止

ACアダプタをコンセントから抜くときは、コードを無理に引っ張らない
コードが傷つき、火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れのときや長期間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜く
火災・感電の原因となります。

電源プラグを抜く

水などの液体が入った場合は、直ちにACアダプタをコンセントから抜く
火災・感電の原因となります。

禁止

タコ足配線をしない
タコ足配線は過熱し、火災の原因となります。

■ USBケーブルの取り扱いについて

禁止

USBケーブルは誤った使い方をしない
火災・感電の原因となります。
・ケーブルを傷つけたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、無理に曲げたりしないでください。
・ケーブルを結んだり、束ねたりしないでください。
・ケーブルの上に重いものをのせないでください。

禁止

USBケーブルを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させない
火災・感電の原因となります。

指示

コネクターに付いたほこりは、乾いた布で拭きとる
火災・感電の原因となります。

禁止

USBケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らない
ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となります。

指示

お手入れのときや長期間使用しないときは、USBケーブルを抜く
火災・感電の原因となります。

■ microSDメモリーカードの取り扱いについて

⚠注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管する
誤って飲み込んだり、けがの原因となることがあります

■ その他

⚠警告

指示

ヘッドセットやヘッドホンを使用するときは、適度な音量にする
音量が大きすぎると難聴の原因となります。また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

⚠注意

禁止

ヘッドセットやヘッドホンをしたまま電源を入れたり切ったりしない
「プツッ」という刺激音により聴力に悪影響を及ぼす原因となることがあります。

使用上のご注意

取り扱い上のお願い

■ 共通のお願い

・**エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

・**この商品に無理な力がかからないように使用してください。**
多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりすると、ディスプレイ、内部基盤などの破損・故障の原因となります。
また、ヘッドセットやヘッドホンをヘッドホンジャックに差した状態の場合、コネクターの破損・故障の原因となります。

・**使用や充電方法は、本書や本製品に内蔵の電子マニュアルをよくお読みください。**

・金属などでこすったり引っかいたりしないでください。
傷つくことがあり故障・破損の原因となります。

■ 本体についてのお願い

・タッチパネルの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先のとがったもので操作しないでください。
タッチパネルが破損する原因となります。
・テレビやラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
・本製品を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障・破損の原因となります。
・ヘッドホンジャックにヘッドセットやヘッドホンを接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障・破損の原因となります。
・使用中、充電中、本製品は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
・microSDメモリーカードスロットカバーを開いたまま使用しないでください。
故障・破損の原因となります。
・ディスプレイやキーのある面に、極端に厚みのあるシールなどを貼らないでください。
故障・破損・誤作動の原因となります。
・起動中や動作中に、手や導電性異物(金属など)をディスプレイに接触させたままにしないでください。
タッチパネルの誤作動の原因となります。
・磁気カードなどを本製品に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
・本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤作動の原因となります。

■ ACアダプタについてのお願い

・次のような場所では、充電しないでください
・湿気、ほこり、振動の多い場所
・テレビ・ラジオなどの近く
・充電中、ACアダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

・**抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの説明書に従ってください。**
・**強い衝撃を与えないでください。また、コネクターを変形させないでください。**
故障の原因となります。

■ USBケーブルについてのお願い

・**コネクターがうまく差し込めないときは、コネクターの形や向きを確認してから差し込んでください。**
無理に差し込むと故障・破損の原因となります。
・**強い衝撃を与えないでください。また、コネクターを変形させないでください。**
故障の原因となります。
・**USBケーブルは、パソコンのUSBコネクターに直接接続してください。**
市販のUSBハブなどを使って接続すると、正しく動作しない原因となります。

■ microSDメモリーカードについてのお願い

・**microSDメモリーカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
故障の原因となります。
・**端子はいつもきれいな状態でご使用ください。**
・**端子を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
データの消失・故障の原因となります。
・**microSDメモリーカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
故障の原因となります。
・**microSDメモリーカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
故障の原因となります。
・**microSDメモリーカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本製品に取り付けないでください。**
故障の原因となります。

■ カメラについてのお願い

・カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
・大切なシーンを撮影するときは、必ず試し撮りをして、正しく撮影されていることを確認してください。
・撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
・カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者(撮影者)などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。
・勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布することは違法行為となります。

ディスプレイについて

本製品のディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素がある場合があります。また、見る角度によって色むらや明るさむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

無線LAN機能／Bluetooth機能に関するご注意

電波法に基づく適合証明について

本製品は、電波法に基づき小電力データ通信システムの無線設備として技術基準適合証明を受けています。したがって本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
下記のことはしないでください。法律により罰せられることがあります。
・本製品に内蔵の無線LAN／Bluetoothモジュールを分解、改造する。および、貼ってある証明ラベルをはがす。

周波数帯について

無線LAN機能では、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

Bluetooth機能では、2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以下です。移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4FH1

電波干渉に関するご注意

本製品の使用する2.4GHzの周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.この機器の使用前に、近くに「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万が一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止してください。
3.その他、何かお困りのことが起きたときは、「お問い合わせ先」（▶48ページ）を参照してください。

海外での使用について

本製品の無線LAN機能は日本国内およびFCC／CE規格に準拠し、認定を取得しています。フランスなど一部の国／地域では無線LAN機能の使用が制限されます。海外でご利用になる場合は、その国／地域の法規制などの条件をご確認ください。

バッテリーの交換について

バッテリーは消耗品です。充放電を繰り返すうちに劣化し、使用時間が極端に短くなります。
バッテリーの劣化は、使用状況や動作環境によって異なりますが、満充電にしても極端に使用時間が短くなったときは、新しいバッテリーと交換する必要があります。
本製品のバッテリーはお客様自身では交換できませんので、「お問い合わせ先」（▶48ページ）へご連絡いただき、バッテリーの交換を依頼してください。（有償）

リサイクルについて

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客さまが不要となってお持ちになる電話機端末・電池・充電器を、ブランド・メーカー問わず下記マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

・回収した電話機端末・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
・プライバシー保護のため、電話機端末に記憶されているお客さまの情報（電話帳、通信履歴、メールなど）は事前に消去してください。

輸出管理規制

本製品を海外へ輸出する際は、「外国為替及び外国貿易法」(外為法)の適用を受けます。また本製品には米国法に基づく再輸出規制対象品が含まれており、米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受けます。
本製品を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
米国再輸出規制により本製品をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。詳しい手続きについては、経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

著作権に関するご注意

本製品を利用して著作権の対象となっている著作物を利用することは、著作権法上、個人的にまたは家庭内でその複製物や編集物を使用する場合に限って許されています。利用者自身が複製対象物について著作権などを有しているか、あるいは複製などについて著作権者などから許諾を受けているなどの事情が無いにもかかわらず、この範囲を超えて複製・編集や複製物・編集物を使用した場合には、著作権などを侵害することとなり、著作権者などから損害賠償などを請求されることとなりますので、そのような利用方法は厳重にお控えください。

おことわり

本製品に収録されている辞書などの各コンテンツの内容は、それぞれの書籍版コンテンツに基づいて、出版社より電子データとして作成、提供された著作物であり、著作権法により保護されております。したがって当社において、その内容を改変／改良することはできません。
それぞれのコンテンツにおける、誤記・誤植・誤用につきましては、判明したものについて、出版社に連絡させていただいておりますが、修正の是非／時期については、出版社の意向によるため、改善しかねることがございますので、あらかじめご了承ください。

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス制限について

インターネットのフィルタリングとは、インターネット上の有害なサイトを青少年に見せないようにするための技術です。フィルタリングは、100%万全ではありませんが、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、多くの有害な情報へのアクセスを自動的に制限することができる有効な手段です。

本製品では、有害情報へのアクセス制限機能を有するソフトウェアは提供しておりませんので、18歳未満の青少年が利用される場合は、有償のフィルタリングサービスをご利用ください。詳しくはメディアタブレットのサポートページをご覧ください。

http://www.sharp.co.jp/support/mediatablet/

商標、登録商標

- POWERED BY NVIDIA® TEGRA™
  NVIDIA、NVIDIAロゴ、Tegraは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの登録商標または商標です。
- microSDロゴ、microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- HDMI® HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE
  HDMI、HDMIロゴおよびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing,LLCの商標または登録商標です。
-

  Wi-Fi®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
  Wi-Fi Protected Setup™およびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの商標です。
- Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。
- SRS TruMediaは、SRS Labs, Inc.の商標です。
  TruMedia技術は、SRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。
- Google、Google ロゴ、Android、Android ロゴ、Android マーケット、Android マーケット ロゴ、Gmail、Gmail ロゴ、Google マップ、Google マップ ロゴ、Googleトーク、Google 音声検索、Google 音声検索 ロゴ、YouTube および YouTube ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- 本製品はAdobe Systems IncorporatedのAdobe® Flash® Player テクノロジーを搭載しています。
  Adobe Flash Player Copyright ©1996-2011 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.
  Adobe、FlashおよびFlashロゴは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  再生するコンテンツによってはFlash Playerの最新版が必要になる場合があります。

- Flash Playerを使用する際には、以下の事項をお守りください。(i)ソフトウェアを複製、頒布しないこと。(ii)ソフトウェアを改変したり、派生物を作成しないこと。(iii)ソフトウェアを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、その他ソースコードの解析をしないこと。(iv)ソフトウェアの権利に関する表明をしないこと。(v)ソフトウェアの使用によって被った間接損害、特別損害、付随的損害、懲罰的損害、結果的損害等を含む一切の損害の賠償を請求しないこと。
- 「秀英体」は大日本印刷株式会社の登録商標です。
- 日本語変換は、オムロンソフトウェア(株)のiWnnIMEを使用しています。iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2011 All Rights Reserved.
- その他、製品名などの固有名詞は各社の商標、または登録商標です。

本製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。
LCフォント／LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。
ただし記号など、一部LCフォントでないものもあります。

その他

・本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用については、ライセンス許諾されておりません。

・MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。

・個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを復号すること。

・ライセンス許諾を受けているプロバイダから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。

その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA,LLCにお問い合わせください。

・本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。ただし、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得およびロイヤリティの支払いが必要となります。

・タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録または複製すること。

・永久記録および／または使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザに配信すること。

追加のライセンスについては、米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

・本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（ｉ）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ｉｉ）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
HTTP://WWW.MPEGLA.COMをご参照ください。

・MPEG Layer-3オーディオコーディング技術はFraunhofer IIS及びThomsonから実施許諾されています。

本書の表記について

■ 画面上のボタンについて

画面に表示されるボタンやアイコンは、［　］で囲んで表記しています。

例）［OK］をタップします。

■ 画面上のメニュー項目などについて

メニュー項目や、画面の名称などは、「　」で囲んで表記しています。

例）・「電源OFF」をタップします。
　　・「デスク」画面が表示されます。

■ 記載内容について

本書に記載している情報は、この説明書の制作時点のものです。お問い合わせ先の情報や画面などが変更されている場合があります。

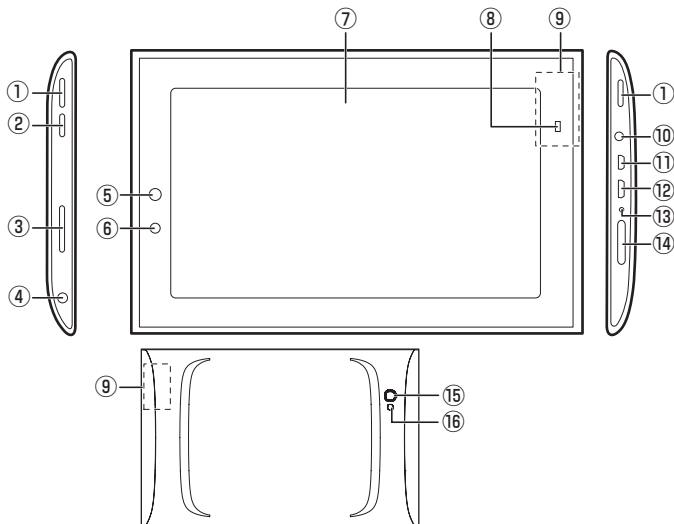
■ 画面例について

本書に記載している画面は一例です。画面の背景、画面デザイン、表示される項目名、アイコンなどの種類や位置などが実際の画面と異なる場合があります。

■ コンテンツについて

記載のコンテンツは架空のものであり、搭載が確定しているものではありません。

ご利用前の準備

各部の名称とはたらき

①スピーカー

②電源キー

（「電源の入れ方／切り方」▶32ページ）

③音量キー

音量を変更するときに使います。

（「音量を調整する」▶37ページ）

④ヘッドホンジャック

市販のヘッドセットやヘッドホンなどを接続できます。

⑤フロントカメラ

静止画や動画を撮影します。

⑥照度センサー

周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを調整します。
照度センサーを手で覆ったり、シールなどを貼らないでください。明るさを正しく検知できなくなることがあります。

⑦ディスプレイ（タッチパネル）

⑧バッテリー状態ランプ

オレンジ点灯　：充電中
緑点灯　：満充電
オレンジ/緑点滅　：内部温度が高温または低温になり充電停止

⑨内蔵アンテナ

無線LAN／Bluetooth／GPSアンテナが内蔵されています。
内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。通信品質が悪くなります。

⑩ACアダプタジャック

充電するときに使います。
（「充電する」▶31ページ）

⑪microHDMIコネクター

市販のHDMIケーブルでHDMI端子を装備したテレビと接続するときに使います。

⑫microUSBコネクター

市販のUSBケーブルでパソコンと接続するときに使います。

⑬マイク

音声を入力するときに使います。

⑭microSDメモリーカードスロット

（「microSDメモリーカードを利用する」▶29ページ）

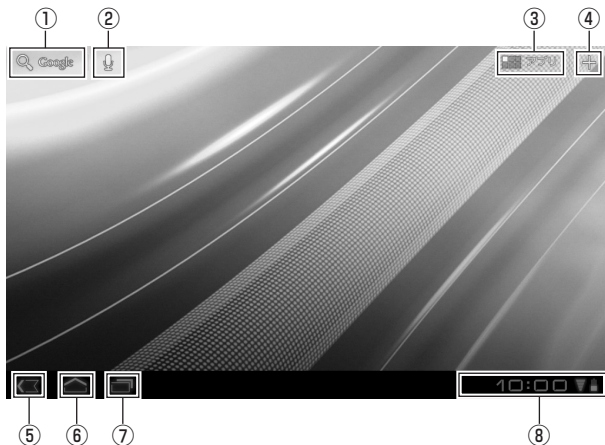
⑮リアカメラ

静止画や動画を撮影します。

⑯フラッシュ

カメラ撮影時に使います。

ホーム画面について

電源を入れたり、ホームをタップするとホーム画面が表示されます。ホーム画面には、お好みに合わせてウィジェットやショートカットを配置することができます。
タップなどの基本の操作については、「基本的な操作を覚える」（▶38ページ）を参照してください。
ホーム画面の操作方法については、電子マニュアルの「基本操作」－「ホーム画面を使う」を参照してください。

①**クイック検索**※

調べたい用語を入力し、本製品のアプリケーションやデータ、インターネットから検索できます。

②**音声検索アイコン**※

このアイコンをタップすると、音声で検索します。音声の入力画面が表示されるので、検索したい言葉を話してください。

※ 検索を利用する場合は、あらかじめインターネットに接続できる状態にしてください。

③アプリ
（「アプリについて」▶27ページ）

（「アプリについて」▶27ページ）

④カスタマイズ
（「カスタマイズについて」▶27ページ）

⑤戻る
タップすると、一つ前の操作画面に戻ります。

⑥ホーム
アプリケーションなどの操作中に、タップすると、ホーム画面に戻ります。

⑦履歴
タップすると、最近使用したアプリケーションのリストが表示されます。表示されたアプリケーションをタップすると、そのアプリケーションが起動します。

⑧ステータスエリア
（「ステータスエリアについて」▶28ページ）

- ホーム画面を中央にして、左右にそれぞれ2面のシートがあります。ホーム画面を左右にフリック（▶39ページ）することで、シートを切り替えることができます。

アプリについて

[アプリ]をタップすると、本製品にインストールされているアプリケーションや設定のアイコンが表示されます。

「マイアプリ」をタップすると、ダウンロードしたアプリケーションが表示されます。「ショップ」をタップすると、Androidマーケットに切り替わります。

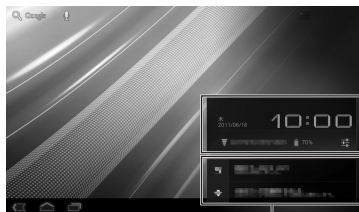
カスタマイズについて

[カスタマイズ]をタップすると、ホーム画面にウィジェットやアプリのショートカットを追加したり、壁紙を変更するとができます。
ウィジェットやアプリのショートカットを追加するときは、「ウィジェット」や「アプリ」を選択し、表示されるリストから追加したいウィジェットやアプリを選択します。壁紙を変更したいときは、「壁紙」をタップして、壁紙を選択します。

ホーム画面のイメージ

ホーム画面に置きたいウィジェットやアプリを選択して、ホーム画面のイメージにドラッグします。
壁紙を選択すると、ホーム画面の壁紙を設定できます。

ステータスエリアについて

ステータスエリアには、本製品の状態や設定を確認できるアイコンが表示されます。
ステータスエリアをタップすると、ステータスエリアが拡大表示され、メール着信などの通知情報が表示されます。

ステータスエリアが拡大して表示されます。

通知情報が表示されます。

さらに、拡大したステータスエリアをタップすると、設定リストが表示されます。

機内モード…機内モードの有効／無効を設定します。
Wi-Fi…Wi-Fiの設定画面に移行します。
自動回転画面… 本製品の位置に合わせて、画面を回転させる機能の有効／無効を設定します。
明るさ…画面の明るさを調整します。
通知…通知機能の有効／無効を設定します。
設定…本製品の設定画面に移行します。

microSDメモリーカードを利用する

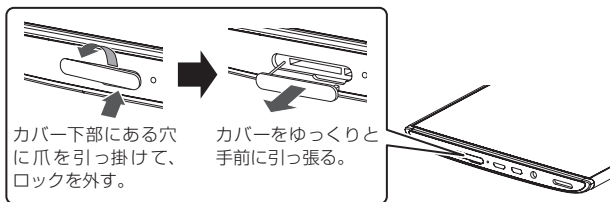
本製品では、付属または市販品のmicroSDメモリーカード(microSDHCメモリーカードを含む)にデータを保存したり、microSDメモリーカードに保存されているデータを閲覧することができます。

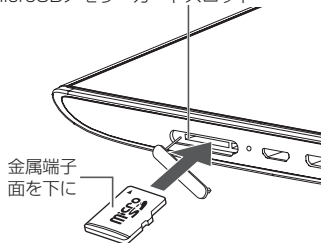
- microSDメモリーカードとmicroSDHCメモリーカードを総称してmicroSDメモリーカードと表記しています。
- microSDメモリーカードの取り付け/取り外しをするときは、カードの挿入口を顔のほうに向けないでください。急に指を離すとカードが顔に向かって飛び出してくることがあります。
- microSDメモリーカードの無理な取り付け/取り外しはしないでください。microSDメモリーカードが破損する恐れがあります。
- パソコンにmicroSDメモリーカードを挿入して、ファイルのコピーや移動などをすると、本製品でコンテンツを見られなくなる場合があります。microSDメモリーカード内のコンテンツを、パソコンで操作しないでください。
  また、パソコンにmicroSDメモリーカードを挿入して、フォルダーの属性を読み取り専用にすると、本製品でコンテンツをダウンロードしたり、保存したりできなくなります。
- microSDメモリーカードは、動作のために必要な領域として10MB分を利用します。このため、10MB分の空き容量があっても、コンテンツを保存することができません。
- 本製品ではmicroSDメモリーカードは初期化できません。他の製品で使用していたmicroSDメモリーカードを使用する場合は、パソコンなどで初期化してください。

microSDメモリーカードを取り付ける

microSDメモリーカードの取り付けは、必ず電源を切ってから行ってください。

- 付属のmicroSDメモリーカードは、初期化済みです。
  出荷時に本体のmicroSDメモリーカードスロットに取り付けられています。

1 microSDメモリーカードスロットカバーを開く。

- microSDメモリーカードスロットカバーを無理に引っ張らないでください。無理に引っ張ると取り付け部のひもが切れ、取り付けられなくなります。

2 microSDメモリーカードの挿入方向を確認し、カチッと音がするまでゆっくり差し込む。

- microSDメモリーカードには、表裏／前後の区別があります。無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損する恐れがあります。

3 microSDメモリーカードスロットカバーを閉じる。

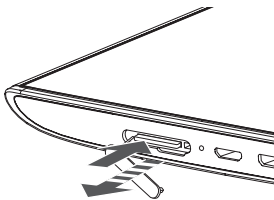
手順1と逆の手順で、カバーを閉じます。

microSDメモリーカードを取り外す

microSDメモリーカードの取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

1 **microSDメモリーカードスロットカバーを開く。**

「microSDメモリーカードを取り付ける」の手順1（▶30ページ）を参照してください。

2 **microSDメモリーカードをカチッと音がするまで奥へゆっくり押し込む。**

microSDメモリーカードが少し出てきます。

3 **microSDメモリーカードをまっすぐにゆっくり引き抜く。**

4 **microSDメモリーカードスロットカバーを閉じる。**

手順1と逆の手順で、カバーを閉じます。

- microSDメモリーカードを無理に引き抜かないでください。
  故障・内部データ消失の原因となります。

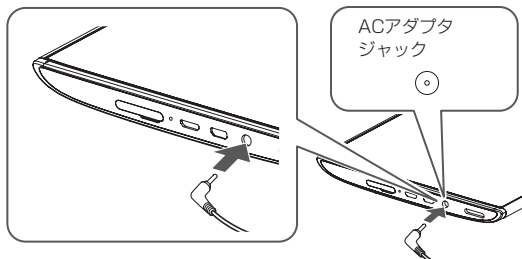
充電する

お買いあげ時には、十分に充電されていません。初めてお使いになるときや、バッテリー残量が少なくなったら充電してご使用ください。

⚠危険 ACアダプタは、必ず付属品またはオプション品(PCA01SHZ10)を使用してください。
指定以外のACアダプタを使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告 充電停止状態(バッテリー状態ランプがオレンジ／緑点滅)になった場合は、直ちにACアダプタをコンセントから抜いてください。
・再度充電をする場合は、しばらく待ってから行ってください。
・電源が切れた状態(サスペンド含む)で何度も充電が停止する場合は、充電回路または内蔵バッテリの異常が考えられるので直ちに充電を中止し、「修理について」(▶46ページ)を参照し、点検・修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災の原因となります。

1 ACアダプタの電源プラグをコンセントに差し込む。

2 ACアダプタのコネクターを本製品のACアダプタジャックに差し込む。

充電が始まると、本製品の前面にあるバッテリー状態ランプがオレンジ点灯します。満充電になるとバッテリー状態ランプが緑点灯に変わります。

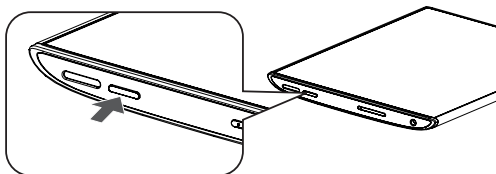
- 本製品が省電力モード(サスペンド)状態の場合、自動的に電源が入ります。

3 充電が終わったら、ACアダプタのコネクターを本製品から取り外す。

4 ACアダプタをコンセントから抜く。

電源の入れ方／切り方

電源を入れる

1 電源キーを長く(3〜4秒間)押す。

初回起動時は、ロゴが表示された後に初期設定の画面が表示されます。(▶34ページ)

電源を切る

電源を切るときの操作です。電源を切った後の起動には少し時間がかかります。

この操作は、しばらく本製品を使わないときやバッテリーの消費を最小限に抑えたいときに行ってください。

1 電源キーを長く(1〜2秒間)押す。

メニューが表示されます。

2 [OK]をタップする。

タッチパネルの操作については、「タッチパネルを操作する」(▶38ページ)を参照してください。

省電力モード(サスペンド)にする

省電力モード(サスペンド)は、本製品を待機状態にすることで、電源を切ったときよりも早く起動することができる機能です。

省電力モード(サスペンド)時は、電源を切ったときよりもバッテリーの消費が早くなります。

1 電源キーを押す。

画面表示が消えて、省電力モード(サスペンド)に移行します。

省電力モード(サスペンド)から復帰する

1 電源キーを押す。

無線LAN機能を機内モード(無効)にする

航空機内や医療用機器がある場所では、機内モードにしてください。また、8ページに記載の注意事項もあわせてご確認ください。

1 「ステータスエリアについて」(▶28ページ)を参照して、ステータスエリアの設定リストを表示する。

2 「機内モード」を「ON」にする。

ステータスエリアに ✈ が表示されます。

- [設定]→「無線とネットワーク」→「機内モード」から設定することもできます。

初期設定をする

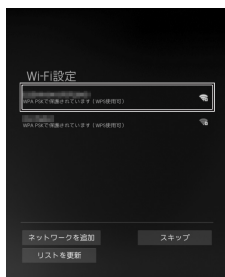
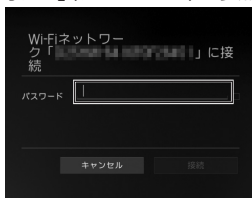
本製品の電源を入れると、最初に初期設定の画面が表示されます。表示される指示に従って、初期設定を行ってください。

1 [開始]をタップする。

2 Wi-Fiネットワークの設定を行う。

- ネットワーク設定は、後からでも行えます。後で設定を行いたい場合は、[スキップ]をタップし、手順3へ進んでください。
- 無線LAN機能(Wi-Fi)をご利用いただく際に必要な通信料および接続料は、お客様のご負担になります。

・Wi-Fi機器が起動している場合…

すでにWi-Fi機器を起動しているときは、リストにWi-Fi機器の名前が表示されます。

該当するWi-Fi機器の名前をタップし、表示される設定画面で「パスワード」の横の入力欄をタップし、パスワードを入力してください。文字の入力方法については、「文字を入力する」(▶40ページ)を参照してください。

正しく入力できたら、[接続]をタップします。
ネットワークに接続できたら、[次へ]をタップします。

・Wi-Fi機器が起動していない場合または手動で設定したい場合…

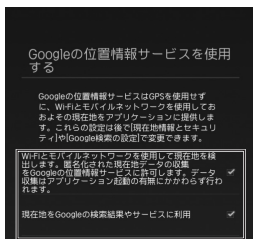
「ネットワークを追加」をタップし、「ネットワークSSID」の横の入力欄をタップし、ネットワークSSIDを入力します。

- ネットワークSSIDは、アクセスポイントを識別するためにつけられた名前です。詳しくは、アクセスポイント機器（無線LAN親機）の説明書を参照してください。

「セキュリティ」をタップし、表示されるリストから、設定したいセキュリティを選択し、パスワードなど、接続に必要な設定を入力してください。
文字の入力方法については、「文字を入力する」（▶40ページ）を参照してください。
すべてを入力し終えたら、[保存]をタップします。

- セキュリティ方式は、アクセスポイント機器（無線LAN親機）に設定されている暗号化の方式です。詳しくは、アクセスポイント機器（無線LAN親機）の説明書を参照してください。

3 Google位置情報サービスの設定を行う。

Googleの位置情報サービスを使用する場合は、「Wi-Fiとモバイルネットワーク...」のチェックボックスにチェックを入れてください。
現在地の情報をGoogle検索で利用する場合は、「現在地をGoogleの検索結果やサービスに利用」のチェックボックスにチェックを入れてください。
設定が終わったら、[次へ]をタップします。

4 日時の設定を行う。

「日付と時刻の自動設定」が有効の状態では、ネットワークから情報を取得し、自動的に日時を調整します。
ネットワークを使用せずに、手動で時刻を調整するときは、チェックボックスをタップしてチェックを外してください。
設定が終わったら、[次へ]をタップします。

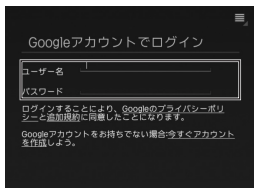
- 手順2でネットワークの接続設定をスキップした場合は、初期設定のセットアップが終了し、ホーム画面の選択画面が表示されます。(▶37ページ)

5 「Googleアカウントでログイン」の画面が表示されるので、[次へ]をタップする。

後でGoogleアカウントの作成、またはログインをしたいときは、[スキップ]をタップしてください。

- [スキップ]をタップした場合は、初期設定のセットアップが終了し、ホーム画面の選択画面が表示されます。(▶37ページ)

6 「ユーザー名」と「パスワード」を入力する。

「ユーザー名」と「パスワード」の入力欄をタップして、ユーザー名とパスワードを入力してください。文字の入力方法については、「文字を入力する」(▶40ページ)を参照してください。
入力が完了したら、[ログイン]をタップします。

Googleアカウントを持っていないときは、「今すぐアカウントを作成」のリンクをタップし、Gmailのユーザー名と名前を登録します。表示される画面の指示に従って、入力してください。文字の入力方法については、「文字を入力する」(▶40ページ)を参照してください。
入力が完了したら、[完了]をタップします。

- Googleアカウントの作成が完了すると、ホーム画面の選択画面が表示されます。(▶37ページ)

7 バックアップと復元の設定を行う。

「バックアップと復元」の画面が表示されるので、設定したGoogleアカウントを使用して、本製品のバックアップの設定を行います。
設定が完了したら、[完了]をタップします。
[完了]をタップすると、ホーム画面の選択画面が表示されます。(▶下記)

■ホーム画面の設定を行う

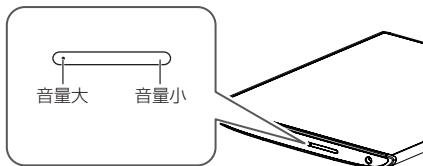
電源を入れたときや、[ホーム]をタップしたときに表示されるホーム画面の選択画面について設定します。
ホーム画面の選択画面で「常にこの操作で使用する」のチェックボックスにチェックを入れて、[ランチャー]をタップします。

- ホーム画面については、「ホーム画面について」(▶25ページ)を参照してください。
- GALAPAGOSアプリの「デスク」画面をホーム画面として使用する場合は、「GALAPAGOS App for Tablet」をタップしてください。

音量を調整する

音量キーを使って音量を調整することができます。

- 音量は、ホーム画面の[アプリ]→[設定]からも行うことができます。詳細については、電子マニュアル(▶43ページ)の「各種設定をする」−「音に関する設定」を参照してください。

ご利用前の準備

基本操作

基本的な操作を覚える

タッチパネルを操作する

本製品は、ディスプレイを直接指で触って操作するタッチパネルを搭載しています。

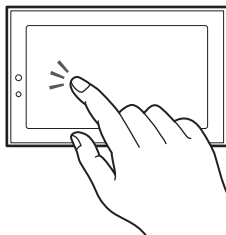
■ タップ／ダブルタップ

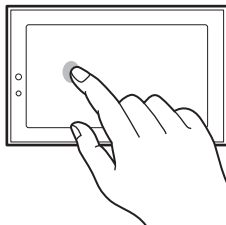
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。

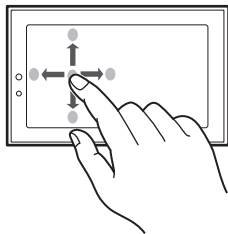
タップ

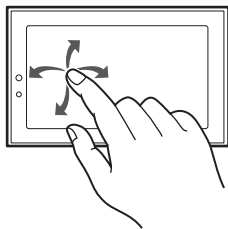
項目を選択したり、決定するときなどに使う操作です。

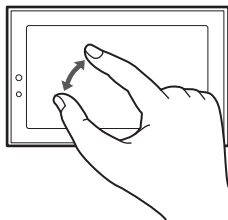
ダブルタップ

表示サイズを切り替えるときなどに使う操作です。

■ ロングタッチ

画面に指を触れた状態を保ちます。
選択している項目のメニューを呼び出すときなどに使う操作です。

■ ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞります。
画面をスクロールするときや、ビューアでページをめくるときなどに使う操作です。

■ フリック

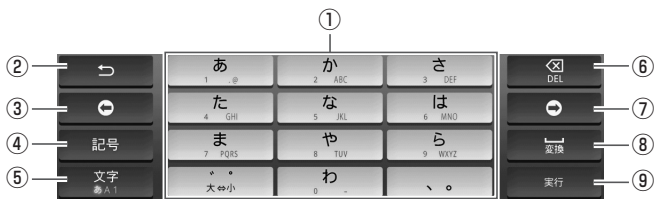
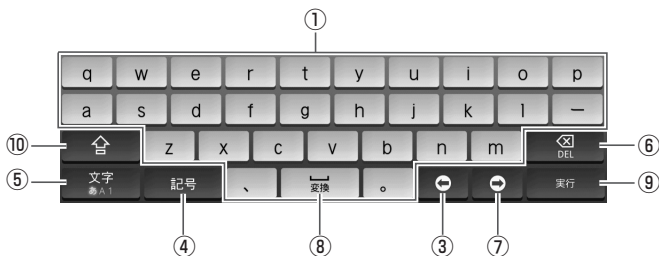
画面を指で、最初はゆっくりと、最後は軽く上下左右にはらうように操作します。画面中央寄りでフリックすると認識されやすくなります。
画面をスクロールするときや、ビューアでページをめくるときなどに使う操作です。

■ ピンチ

2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。
表示を拡大／縮小するときに使う操作です。

● 表示している画面によっては、これらの操作ができない場合があります。

文字を入力する

文字入力欄をタップすると、文字入力ボードが表示されます。文字入力ボードには10キーボード、QWERTYキーボードがあります。
文字入力ボードを切り替えるには、文字入力ボードの[文字]をロングタッチし、表示される「メニュー」画面で「テンキー⇔フルキー」をタップします。

文字入力ボードの見かた

■ 10キーボード

■ QWERTYキーボード

①文字入力キーボード

10キーボード、QWERTYキーボードでは文字入力キーボードが表示されます。キーの表示は、文字入力モードにより異なります。

② ⊃ キー

キーに割り当てられている1つ前の文字を表示します。

③カーソルキー(左)

カーソルを左に移動します。ロングタッチすると連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。

④記号キー

記号リストの表示や切り替えをします。
顔文字を入力するときは、「顔文字」をタップします。

⑤文字キー

文字入力モードを切り替えます。切り替えられる文字入力モードは、選択している文字入力欄によって異なります。

・10キーボード、QWERTYキーボードでは、タップするたびに、「ひらがな漢字入力」→「半角英字入力」→「半角数字入力」→「ひらがな漢字入力」…の順に切り替わります。

ロングタッチすると、文字入力のメニュー画面を表示します。「テンキー⇔フルキー」で10キーボード、QWERTYキーボードの切り替えを行います。「入力モード切替」で次の入力モードを選択します。

ひらがな漢字入力モード
全角カタカナ入力モード
半角カタカナ入力モード
全角英字入力モード
半角英字入力モード
全角数字入力モード
半角数字入力モード

⑥DELキー

カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除できます。

⑦カーソルキー(右)

カーソルを右に移動します。ロングタッチすると連続移動します。変換時は変換範囲を変更します。
また、カーソルが右端にあるときにタップすると、ワイルドカード予測(文字数から予測)を表示します。

⑧スペース／変換キー

スペースの入力または、未確定の文字列を適切な文節に区切って変換します。

⑨実行キー

改行の入力または、未確定の文字列を確定します。

⑩Shiftキー

QWERTYキーボードのときのみ表示されます。
英字入力モードでは、タップするたびに、大文字入力／大文字入力固定／小文字入力に切り替わります。
数字入力モードでは、タップするたびに、キー入力できる記号が切り替わります。

10キーボードで英字を入力する

例)「you」と入力する

1. **文字種を半角英字入力モードまたは全角英字入力モードに切り替える。**
2. **[WXYZ]を3回タップする。**
3. **[MNO]を3回タップする。**
4. **[TUV]を2回タップする。**
5. **[確定]をタップする。**

10キーボードで漢字を入力する

例)「愛知」と入力する

1 文字種をひらがな漢字入力モードに切り替える。

2 [あ]を1回タップする。

3 [→]をタップし、[あ]を2回タップする。

4 [た]を2回タップする。

5 [変換]をタップする。

入力した文字の変換候補が表示されます。

6 変換候補から「愛知」をタップする。

- QWERTYキーボードでの入力方法は、電子マニュアル(▶43ページ)の「文字を入力する」を参照してください。

電子マニュアルを見る

本書では、基本的な操作方法を記載しています。より詳しい操作方法は、本製品に内蔵の電子マニュアルを参照してください。

1 ホーム画面で[電子マニュアル]をタップする。

付録

お手入れのしかた

電源を切ってから、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。
端子はときどき乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となります。
また、清掃する際には破損に十分ご注意ください。

- 乾いた布などで強くこすると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- シンナーやベンジンなど、揮発性の液体やぬれた布は使用しないでください。変質したり色が変わったりすることがあります。

故障かな？と思ったら

“故障かな?”と思っても、調べてみると故障ではないこともあります。
お問い合わせや修理のご依頼の前に、ここに記載されている内容および本製品に内蔵の電子マニュアルやホームページを参照して問題の解決方法がないか、もう一度よくお確かめください。

こんなときは	ここをお確かめください	参照
電源が入らない	バッテリーが充電されているか確認してください。バッテリー残量が不足しているときは、充電してください。	31
画面が表示されない	電源が切れていたり、省電力モード(サスペンド)になっている可能性があります。電源キーを押して電源を入れてください。	32
	バッテリーが充電されているか確認してください。バッテリー残量が不足しているときは、充電してください。	31
	電源キーを6秒以上押して電源を切り、その後電源を入れ直してください。	33
使用中に動かなくなってしまった	電源キーを6秒以上押して電源を切り、その後電源を入れ直してください。	33

タッチパネルを操作できない	ディスプレイが汚れている可能性があります。画面に水分(汗)や汚れがついていると正しく動作しません。電源を切ってから、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。	44
	電源キーを6秒以上押して電源を切り、その後電源を入れ直してください。	33
無線LAN機能(Wi-Fi)が利用できない	「機内モード」にチェックマークが入っていないか確認してください。	33
	無線LAN(Wi-Fi)の設定が正しいか確認してください。	34
	無線LANアクセスポイントと他のネットワーク機器が正しく接続されているか確認してください。	34
	無線LANアクセスポイントの設定が正しいか確認してください。	34
	Wi-Fiの電波の強さが十分か確認してください。	−
	公衆無線LANアクセスポイントを使用している場合は、接続サービスを提供している事業者のウェブサイトでメンテナンス情報などを確認してください。	−
充電されない	バッテリー状態ランプがオレンジ／緑点滅のときは、内部温度が高温または低温になったために充電停止状態になっています。 いったんACアダプタをコンセントから抜いてください。 ・再度充電をする場合は、しばらく待ってから行ってください。 ・電源が切れた状態(サスペンド含む)で何度も充電が停止する場合は、充電回路または内蔵バッテリの異常が考えられるので直ちに充電を中止し、「修理について」(▶46ページ)を参照し、点検・修理を依頼してください。	24

保証とアフターサービス

保証について

お買い上げいただくと、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「販売店」の記載がされているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。「お買い上げ日」や「販売店」の記載がない場合や、納品書または領収書等にて「お買い上げ日」や「販売店」が特定できる書類が無い場合、改ざんのある場合には保証対象外となりますのでご注意ください。

保証内容については、保証書に記載されています。

また本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客さままたは第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

修理について

本書の44ページや電子マニュアル（▶43ページ）の「故障かな？と思ったら」をお読みになり、もう一度お調べください。それでも正常に戻らない場合には、「お問い合わせ先」（▶48ページ）までご連絡ください。

・**保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

・**保証期間経過後の修理**
修理によって使用できる場合は、お客さまのご要望により有料にて修理いたします。

ご注意

・本製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
・故障または修理により、お客さまが登録・設定した内容が消失・変化する場合がありますので、大切なデータは控えを取っておかれることをお勧めします。
・故障または修理の際に、本製品に登録したデータまたは設定した内容が消失・変化した場合、その損害について当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

・本製品を分解・改造すると電波法に触れることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
・アフターサービスについてご不明な場合は、「お問い合わせ先」(▶48ページ)までご連絡ください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。電話番号はお間違いのないようおかけください。

<u>イー･モバイル カスタマーセンター</u>

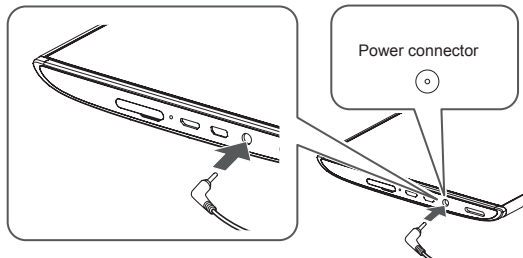
イー･モバイル携帯電話から：157（無料）
一般電話から：0120-736-157（無料）
※他社の携帯電話、PHSからもご利用いただけます。
海外から：+81-3-6831-3333（有料）
受付時間9：00～21：00（日本時間／年中無休）
※ 間違い電話が多くなっております。
　番号をよくお確かめの上、おかけください。
※ 一部の光電話、IP電話等からは
　ご利用いただけない場合があります。
ホームページ　http://emobile.jp/

Charge the product

The product is not fully charged when you purchase it. Before using the product for the first time or when the battery has run low, charge the battery.

- Only use the specified AC adapter. Using an AC adapter other than the specified type may cause a fire or electric shock.

1. Insert the power plug of the AC adapter into a power socket.

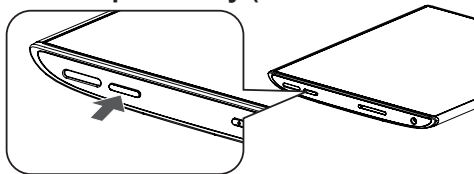
2. Insert the connector of the AC adapter into the product's power connector.

When the battery is fully charged, the battery status LED turns Green.

3. When charging is finished, remove the connector of the AC adapter.

4. Disconnect the AC adapter from the power socket.

Turn on/off the power

■ Turn on the power

1. Hold down the power key (for 3 to 4 seconds).

■ Turn off the power

1. Hold down the power key (for 1 to 2 seconds).

The menu is displayed.

2. Tap [OK].

付録

Setup

■ Configure wireless LAN settings

Register information about the access point you will use.

- Users are liable for communication and connection charges required when using the wireless LAN function.

1. Tap [開始].

2. Tap the name of the appropriate Wi-Fi device.

3. Enter password, and tap [接続].

4. Follow the instructions on the screen to configure Google positioning service settings, date and time settings, and Google account settings.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules.
  Operation is subject to the following two conditions:
  (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF Exposure Information

Your device is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough

evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless devices employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.

CE Declaration of Conformity

CE 0700 ⓘ

In some countries/regions, such as France, there are restrictions on the use of Wi-Fi. If you intend to use Wi-Fi on the mobile device abroad, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that this A01SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/support/mediatablet/

Flash Light

Do not shine Flash Light in eyes.
May temporarily affect eyesight or startle,leading to accidents.

European RF Exposure Information

Your mobile device is radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.
The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg.

さくいん

数字／アルファベット

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

付録

発売元：イー・アクセス株式会社
製造元：シャープ株式会社
発行年月：2011年9月 第2版

PRINTED IN CHINA